

Coffee Market Report

December 2024



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

2024年のICO複合指標価格12か月平均は229.34セントで前年比40%上昇した

グリーンコーヒー価格

- 2024年12月のICO総合指標価格（I-CIP）月次平均は299.61セント（USセント/ポンド、以下同様）で2024年11月から0.7%上昇した。
- 12月のコロンビアマイルドとアザーマイルドは11月に対してそれぞれ11.4%と12.6%上昇して341.00セントと343.34セントだった。
- コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、2024年11月の1.24セントから12月は-2.34セントに縮小した。
- ロンドンとニューヨークの先物市場の間で測定されたアービトラージは、2024年12月に44.9%拡大して90.72セントとなり、27か月ぶりの最高値を記録した。
- I-CIPのボラティリティは4.6ポイント上昇して2024年12月には14.1%だった。
- ロブスタの2024年12月のロンドン認証在庫は11月から13.3%増加し73万袋で月末を終えた。アラビカのニューヨーク認証在庫も同様の傾向をたどり、2024年11月と比べて7.8%増加し103万袋だった。

コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

- 2024年11月の世界の生豆輸出量は970万袋で、前年同月の973万袋に対して0.4%減少した。
- コロンビアマイルドの輸出量は、2023年11月の110万袋から2024年11月は124万袋へ13.1%増加した。
- アザーマイルドの2024年11月の輸出量は、前年同月の125万袋から2.5%増の128万袋だった。
- ブラジルナチュラルの2024年11月の生豆輸出量は2023年11月の363万袋から12.1%増の406万袋だった。
- ロブスタの生豆輸出量は、2023年11月の376万袋から2024年11月は311万袋へ17.3%減少した。

地域別のコーヒー輸出量 - 全形態

- アジア・オセアニアの2024年11月輸出量は前年同月対比12.0%減の276万袋だった。
- アフリカの2024年11月輸出量は2023年11月の103万袋に対して24.5%増の128万袋だった。
- 南米の2024年11月輸出量は6.0%増の643万袋となった。
- メキシコと中央アメリカの2024年11月の輸出量は、2023年11月の37万袋から5.2%増の39万袋だった。

形態別のコーヒーの輸出量

- ソリュブルコーヒーの総輸出量は、2023年11月の80万袋から2024年11月には37.9%増加の111万袋だった。
- 焙煎豆の輸出量は、2023年11月の6万7,174袋に対し、2024年11月には5万4,243袋と19.3%減少した。

グリーンコーヒー価格

12月のICO総合指標価格（I-CIP）の月次平均は299.61セント、2024年11月から10.7%上昇した。I-CIPの中央値は299.81セントで、価格レンジは277.71～312.77セントだった。2024年12月のI-CIPは2023年12月のI-CIPを70.5%上回っており、12か月移動平均は229.34セントだった。



12の月コロンビアマイルドとアザーマイルドは11月に対してそれぞれ11.4%と12.6%上昇して341.00セントと343.34セントだった。ブラジルナチュラルも上昇し、2024年12月には14.5%上昇し326.97セント、また、ロブスタは4.7%上昇して236.73セントだった。ニューヨークのICE市場は価格上昇を牽引し、14.4%上昇の317.00セントに達した。ロンドンのICE市場は5.5%上昇して226.28セントだった。

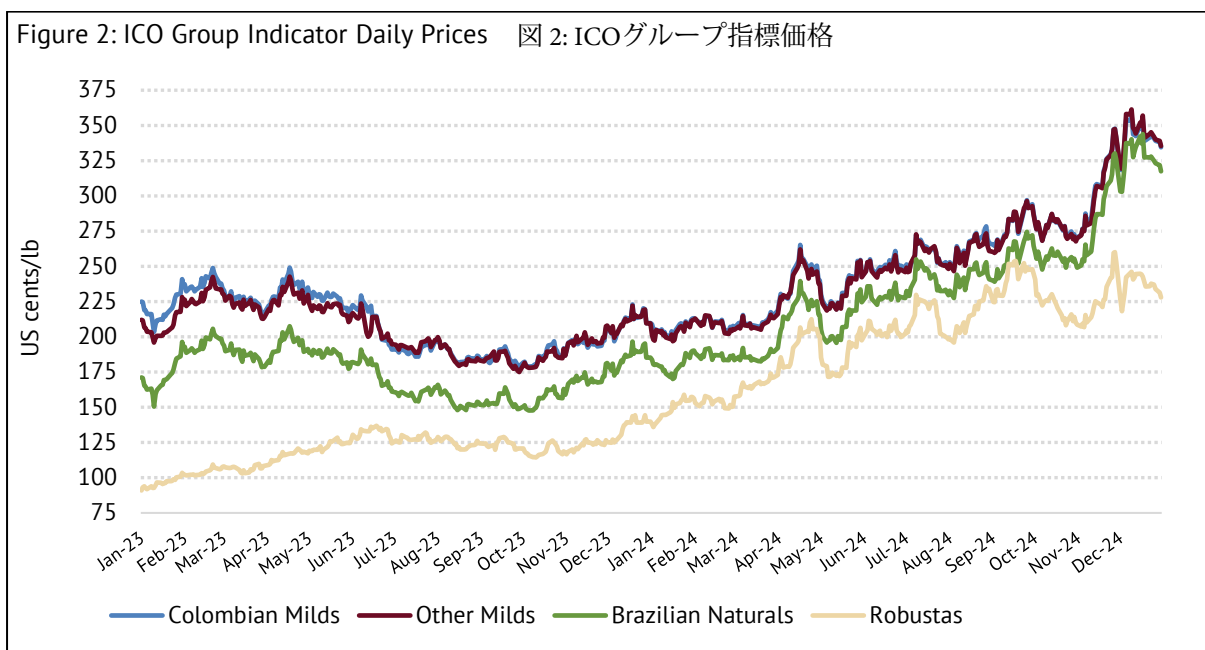
2024年12月のICO複合指標価格は1977年4月の314.96セント/ポンド(名目価格)以来の最高月次平均を記録した。月間を通して価格を押し上げたいくつかの要因があった。

- コーヒーの高価格と米ドルの為替高が相まって、取引市場ではコストが大幅に上昇し、生産国では問題が発生している。ブラジルのアラビカコーヒー販売のほぼ10分の1を占めるブラジル大手輸出企業2社は、破産申請を回避するために債権者との交渉時間の延長を地元の裁判所に求めなければならなかった。さらに、米国次期大統領の経済政策における米国金利の今後の引き下げに関する不透明感もあり、米ドルは過去10年間で最高のドル高水準であることからICO複合指標価格は上昇を続けている。強いドルは、1トン当たり英国ポンド価格、1キログラム当たり欧州ユーロ価格での価格上昇を招いており、西側諸国の輸入業者や焙煎業者にとって継続的な負担となっている。結果、コーヒー加工に携わる業者は、サプライチェーンの下流で価格を引き上げざるを得なくなり、最終消費者のコストが増加する。市場価格の上昇により、先物取引ブローカーは顧客に対し
マージンコール（取引証拠金の追加請求）を発行せざるを得なくなる。これに加えて、港湾作業での遅延によってすでに生じているストレスがさらに悪化し、取引採算が悪化

Cecafé（ブラジルコーヒー輸出業者連合会）は、コーヒー販売業者が地元の市場の非効率性により追加の保管スペースと港湾料金を700万リアル以上を費やしたと報告している。コロンビアでは、主要収穫期と数十年ぶりの高価格という重要な時期に、コンテナ不足と船のスペース不足により物流上の課題に直面している。

- ヨーロッパのコーヒー消費地への輸送時間の長期化は、世界のサプライチェーンに引き続き負担をかけている。スエズ運河の交通が依然として非常に制限されているため、コーヒーの輸送は超時間を要する状況が続いている。その結果、アジアのコーヒー生産国とヨーロッパの消費者市場間のコーヒーの輸送は遅延しコストも高くなっている。これにより、目的地にまだ輸入されていない輸送途上にあるコーヒーの総量は400万袋から500万袋にまで増加し、ヨーロッパの輸出先市場では相対的に供給不足となり、価格上昇の圧力が加わっている。実際、高金利、輸送時間の長期化、原産地の港での遅延、認証在庫の減少（2024年は2019年から2024年の5年間平均の42.5%）、価格の上昇が相まってコーヒー取引の資金調達が困難になっている。

一方、コーヒーに対するEUDR（欧州森林破壊防止規則）の実施が迫っていたことから、I-CIPは、EUDRの適用延期に関する規則を欧州理事会が正式に採択した12月18日の1ポンド当たり311.46セントから、翌日には1ポンド当たり299.81セントに下落した。12月17日、欧州議会は、EUDRの適用開始を延期するための暫定政治合意を欧州理事会および欧州委員会と採択することを決議した。大規模事業者および貿易業者は2025年12月30日から、中小事業者は2026年6月30日からこの規則の義務を遵守する必要がある。欧州理事会による正式な採択は、通常の立法手続きの最終段階となる。この規則は、12月27日にEU官報に掲載された。



コロンビアマイルドとアザーマイルドの価格差は、2024年11月から12月の間に1.24セントから-2.34セントに縮小した。コロンビアマイルドとブラジルナチュラルの価格差は32.0%縮小して14.03セント、一方、コロンビアマイルドとロブスタの価格差は30.2%拡大して104.27セントだった。

また、アザーマイルドとブラジルナチュラルの価格差は15.6%縮小し16.37 米国セント、アザーマイルドとロブスタの価格差は35.2%拡大し106.61セント、ブラジルナチュラルとロブスタの価格差は51.7%拡大し90.24セントだった。

図 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ

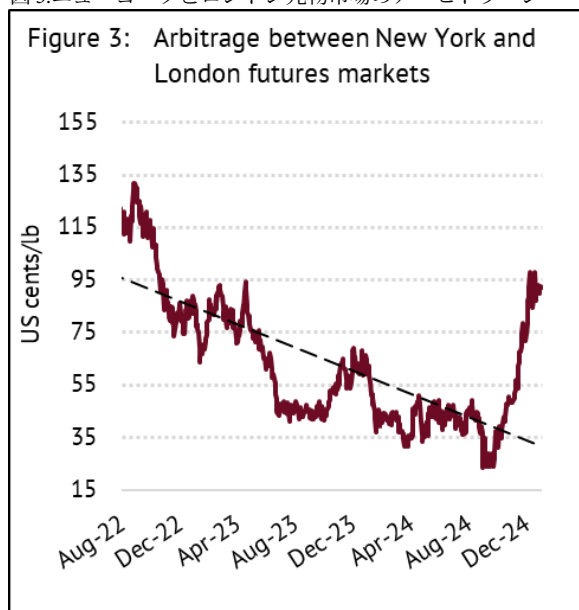
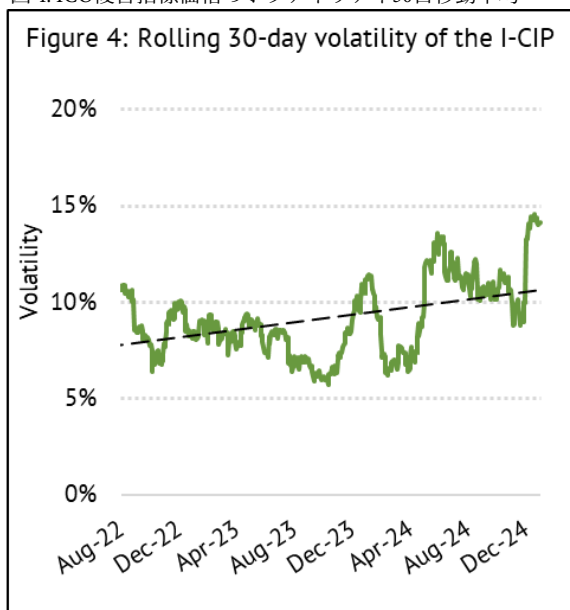
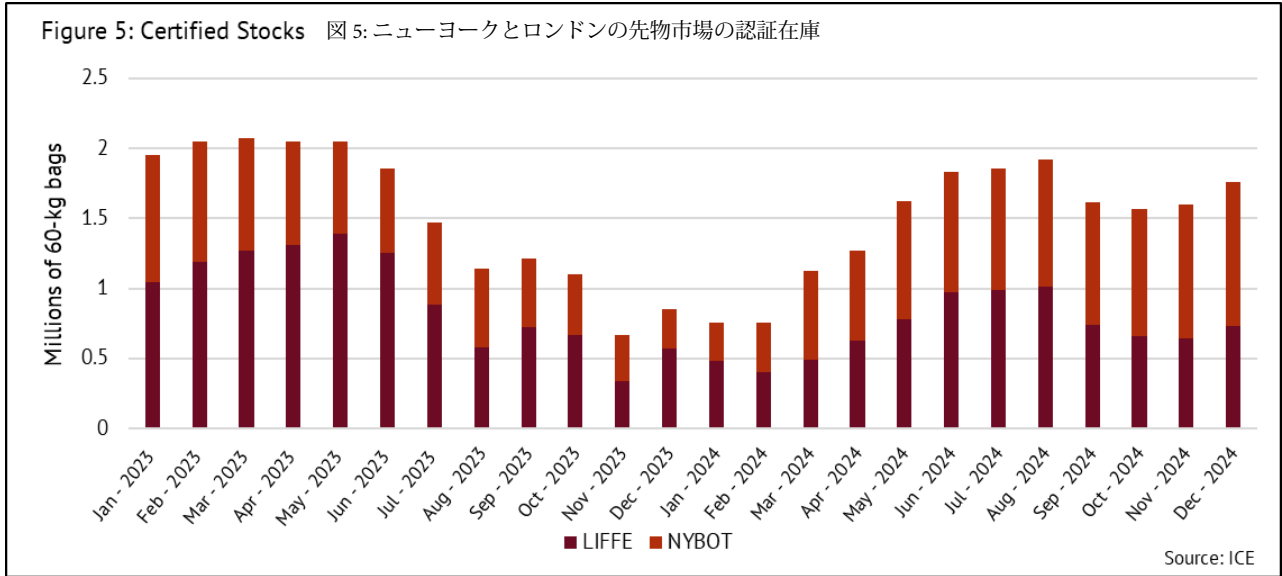


図 4: ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ロンドンとニューヨークの先物市場の間で測定されたアービトラージは、2024年12月に44.9%拡大して90.72セントとなり27か月ぶりの最高値を記録した。値動きが急激に反転したのはアラビカ価格がロブスタよりもはるかに速いペースで上昇したことによる。アラビカとロブスタのアービトラージが増加し、アラビカ価格が急速に上昇しているため、焙煎業者はより多くのロブスタをブレンドに採用することで、低いグレードで低い品質のコーヒーに頼らなくて済むようになる可能性がある。

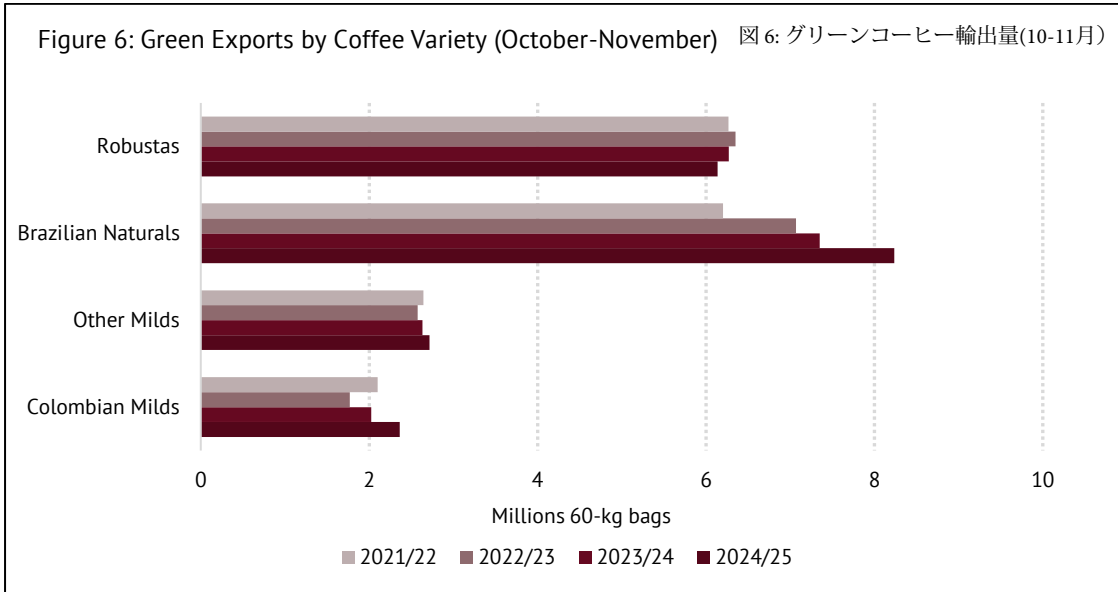
I-CIPの2024年12月のボラティリティは前月対比4.6ポイント上昇して14.1%だった。コロンビアマイルドとアザーマイルド、ブラジルナチュラルのボラティリティはそれぞれ3.3ポイント上昇して13.0%、13.2%、13.8%だった。ロブスタは7.2ポイント上昇して17.3%だった。ニューヨーク先物市場のボラティリティは3.0ポイント上昇して14.0%、ロンドン先物市場は6.5ポイント上昇して18.5%だった。



2024年12月のロンドンのロブスタ認証在庫は11月から13.3%増加し73万袋だった。ニューヨークのアラビカ認証在庫も同様の傾向を示して7.8%増加し103万袋だった。

コーヒーグループ別の輸出量 - 生豆

2024年11月の世界の生豆輸出量は970万袋で、前年同月の973万袋に対して0.4%減少した。過去13カ月で初めての減少となった。減少の要因はロブスタである。

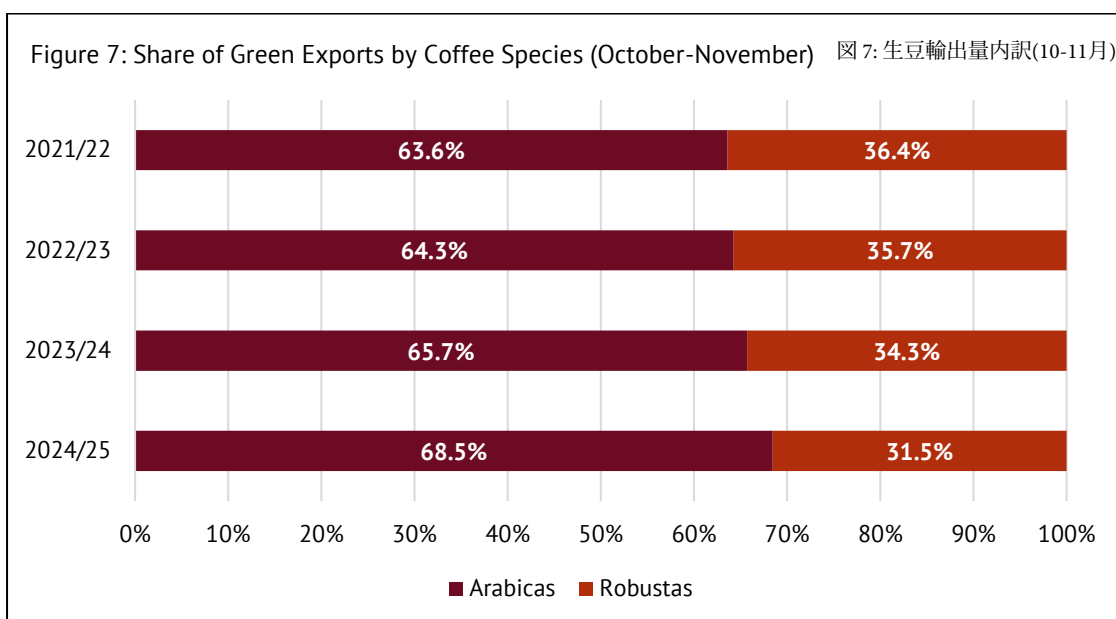


コロンビアマイルドの輸出量は、2023年11月の110万袋から2024年11月には13.1%増加して124万袋となった。これは14か月連続の輸出量増加だった。グループの3つの主要生産国（コロンビア、ケニア、タンザニア）すべてが2桁の輸出量増加を示し、タンザニアの輸出量は2倍以上の160.6%増の85,000袋だった。

アザーマイルドの輸出量は、2024年11月に前年同期の125万袋から2.5%増加して128万袋となった。相対的に緩やかな増加は、一方でコスタリカ、エチオピア、インド、メキシコの方強い輸出量の増加（合計輸出量は2023年11月の19万袋から94.5%増加して37万袋となった）と、他方でホンジュラス、パプアニューギニア、ペルー、ウガンダの輸出量の減少（合計輸出量は2023年11月の85万袋から2024年11月には20.0%減少して68万袋となった）が重なったことが反映されている。

ブラジルナチュラルの2024年11月生豆輸出量は、2023年11月の363万袋から12.1%増の406万袋だった。このグループの輸出量が400万袋を超えたのは2度目で、これはブラジルナチュラルの最大の生産国であり輸出国であるブラジルおよびエチオピアが牽引した。ブラジルは2024年11月に354万袋を輸出し、2023年11月の320万袋と比較して10.4%増加した。

ロブスタの生豆輸出は、2023年11月の376万袋に対して2024年11月は17.3%減の311万袋だった。11月の2桁の減少の主因はベトナムで、同国の2024年11月輸出量は2023年11月の189万袋から47.1%減の100万袋だった。ブラジルもロブスタ輸出減少の一因となっており、同国輸出量は2023年11月の86万袋から2024年11月は16.6%減の71万袋だった。これは、ブラジルのロブスタにとって19か月ぶりの減少だが、むしろ、これはブラジルのロブスタ輸出の強気相場の終焉を意味するものではなく、2024年11月の下落はベース効果（反動減）と思われる。ベトナムの輸出が地域に及ぼす影響は、主にインドとインドネシアの輸出量増加、それぞれ103.2%と58.5%の増加によって緩和された。両国の合計輸出量は、昨年の50万袋に対して11月は88万袋だった。この結果、生豆輸出全体に占めるアラビカの割合が、2023年11月の61.4%から2024年11月には67.9%に増加した。



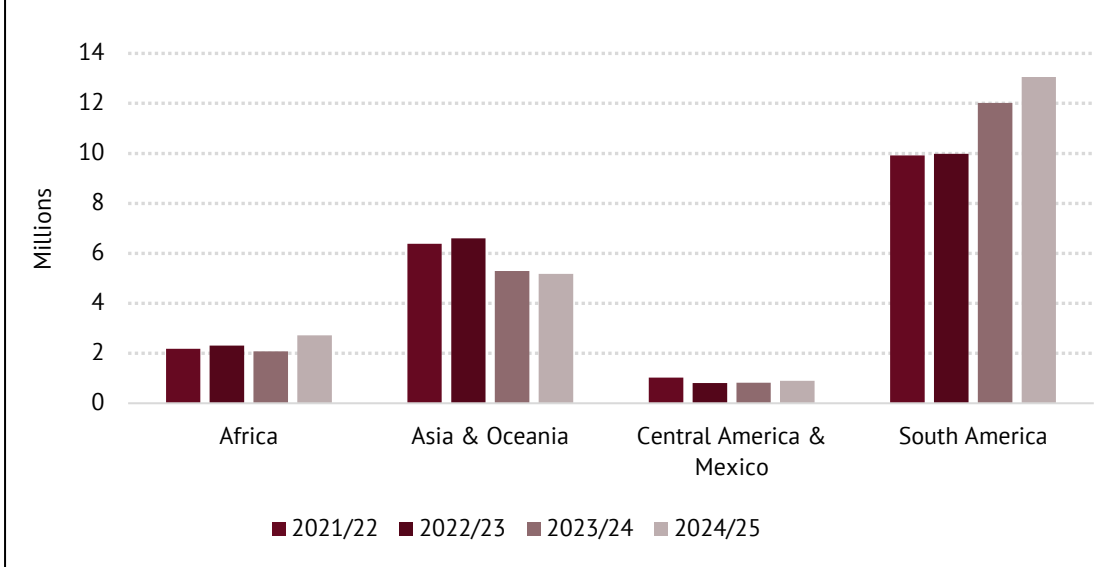
地域別のコーヒー輸出量 - 全形態

アジアおよびオセアニア地域の2024年11月のコーヒー輸出量は、前年同期に対して12.0%減少して276万袋だった。減少の主因はベトナムで、同国の2024年11月の輸出量は、2023年11月の203万袋に対して47.1%減の108万袋だった。これは2010年の103万袋以来の水準である。さらに、過去5年間（2019年から2023年）の11月の平均輸出数量を42.3%（79万袋）下回っている。輸出量が予想を下回ったのは、国内生豆価格の下落の結果である。国内の在庫が枯渇している状況から国内の供給が抑制された可能性がある。2024年初頭、ベトナム国内生豆価格は70,000ドン/kgと報告されていたが、その後着実に上昇し、9月中旬には約125,500～126,100ドン/kgのピークに達した。それ以来、価格は下落し、1kgあたり108,000ドンから109,500ドンまで下落した。ベトナムの輸出量の減少は、インドとインドネシアによって緩和され、2国の輸出量はそれぞれ70.5%増、59.3%増の74万袋、77万袋だった。

アフリカ地域のコーヒーの輸出量は、2023年11月の103万袋から2024年11月には128万袋へ24.5%増加した。2024年11月の地域の輸出量増加の原動力はエチオピアで、同国輸出量は2023年11月の29万袋に対して2024年11月は86.24%増の54万袋だった。これはエチオピアにとって12か月連続の増加であり、この間の輸出量拡大の背景には2022/23コーヒー年度に多発した物流/契約上の問題の解決、つまりベース効果（反動増）がある。エチオピアに加え、ケニアとタンザニアも2024年11月のアフリカ地域の二桁増加率に大きく貢献し、輸出量はそれぞれ70.0%と50.3%増加して5万袋と12万袋だった。

ケニアの輸出の二桁増加は、2024年1月から6月まで間の平均増加率が0.3%に対して、2024年7月から10月の間は平均増加率が62.2%となっており、2つの期間の増加率の差は、ケニアのコーヒーセクター改革における同国政府の取り組みが影響していると見られる。この取り組みでは、2023年6月10日にコーヒー精選業者にライセンスの再申請を求めていたが、多くの民間業者のライセンスが遅れたり、更新されなかったりした。同国の精選能力の約90%は民間部門にあり、同国最大の協同組合所有の精選業者であるニューケニアプランターズコーポラティブユニオン（NKPCU）は、原産地のコーヒー精選需要の10%未満を扱っている。これにより、処理が遅れ、2024年上半期の輸出量が相対的に減少したようです。2024年7月から11月までの輸出の2桁成長は、精選能力の問題が解決しつつある兆候かも知れない。

Figure 8: Total Exports by Producing Regions (October-November) 図 8: 生産地域別輸出量 (10-11月)



南米地域の2024年11月のコーヒー輸出量は6.0%増の643万袋だった。この地域の力強い輸出量増加の源泉はブラジルであり、その輸出量は2023年11月の434万袋に対して2024年11月は7.8%増の468万袋だった。ブラジルの輸出量増加の要因はアラビカによるもので、その輸出量は2023年11月の336万袋から2024年11月は12.2%増の377万袋だった。一方、ロブスタの輸出量は7.1%減少し、輸出量減少は20か月ぶりだった。コロンビアの輸出量も、2023年11月の111万袋から2024年11月には121万袋へと8.6%増加し、この地域の輸出拡大に大きく貢献した。一方、ペルーは、輸出量が57万袋から13.4%減少し49万袋となり、地域の輸出拡大への阻害要因だった。ペルーの輸出低迷の背景としては、2022/23 コーヒー年度の終了時点で、在庫がほぼ枯渇した状態であり、2023/24年度の初めに現地の供給に圧力をかけたことが挙げられる。この状況は、供給問題に起因するペルー産コーヒーの追加需要により、年度の後半には悪化した。これら2つの要因の連鎖反応により、2024/25年度もペルーは在庫水準が低い、またはほぼ枯渇した状態でコーヒー年度を開始したことで、2024年10月から11月にかけての輸出量が予想よりも低かった可能性がある。

メキシコおよび中米地域の2024年11月の輸出量は、2023年11月の37万袋から5.2%増加して39万袋となった。コスタリカとメキシコは地域の輸出増加を牽引し、輸出量はそれぞれ405.2%増と15.5%増の4万袋と20万袋だった。一方、ホンジュラスとニカラグアは、それぞれ57.3%と26.3%減少して30万袋と50万袋となり、2023年11月の70万袋と60万袋と比較して減少した。ホンジュラスは新コーヒー年度でのスロースタートが続き、最初の2か月の輸出量は4.6万袋で前年同時期に対して50.1%減少した。この輸出量は、2009年コーヒー年度の38万袋以降で最低だった。ホンジュラスは2年ごとの生産サイクルで「裏年」を終えたばかりで在庫水準が少ないかあるいは枯渇状況であること、また2024/25年のコーヒー収穫開始が遅れているというニュースを考慮すると、この落ち込みは地元コーヒー業者が輸出に慎重な姿勢をとっており、その結果として供給管理が行われていることを示している可能性がある。

形態別のコーヒーの輸出量

ソリュブルコーヒーの総輸出量は、2023年11月の80万袋から2024年11月には37.9%増加し、111万袋となった。

2024/25年度コーヒー年度における2024年11月までのコーヒー総輸出に占めるソリュブルコーヒーのシェアは、2023/24年度の同時期の9.0%から10.4%増加した。ブラジルは2024年11月時点でソリュブルコーヒー最大の輸出国であり38万袋を輸出した。

焙煎豆の輸出量は、2023年11月の6万7,174袋に対し、2024年11月には5万4,243袋と19.3%減少した。

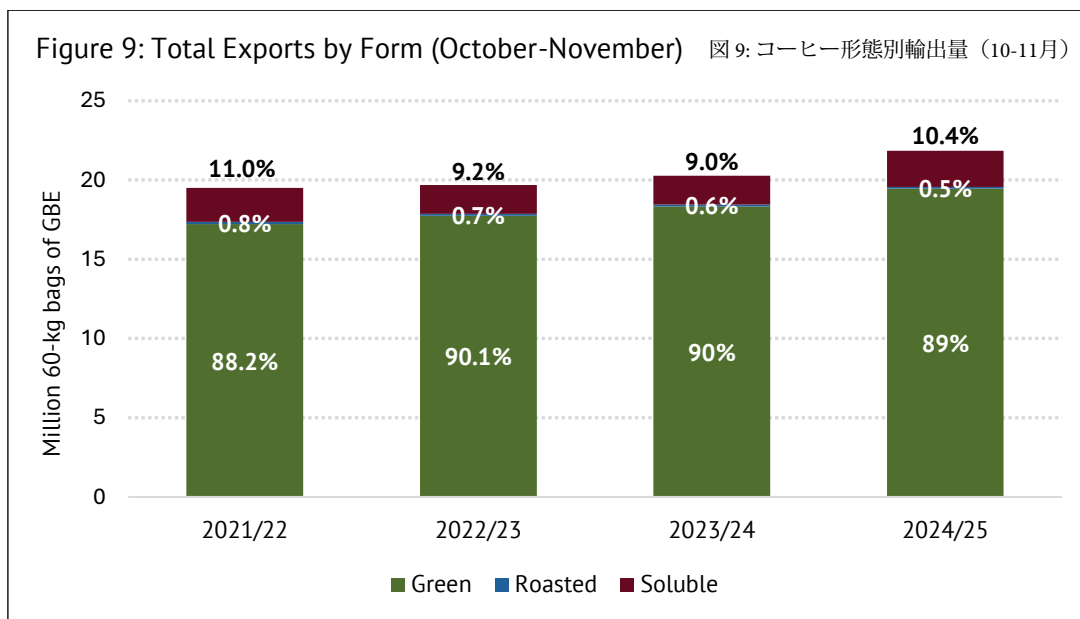


表 1: ICO 指標価格と先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Jan-24	176.41	205.62	203.30	179.32	148.47	183.06	135.84
Feb-24	182.04	209.53	208.78	186.74	153.23	185.37	142.43
Mar-24	186.38	210.26	208.85	185.76	165.84	184.59	148.53
Apr-24	216.89	241.80	239.73	218.77	193.65	217.97	176.04
May-24	208.38	233.50	232.11	209.78	184.97	208.86	165.11
Jun-24	226.83	250.39	248.39	229.25	204.30	226.47	182.82
Jul-24	236.54	257.82	257.10	239.70	214.72	235.15	193.93
Aug-24	238.89	263.67	261.38	242.15	214.69	239.29	197.81
Sep-24	258.84	279.27	278.52	257.24	241.93	254.43	225.13
Oct-24	250.56	277.10	276.82	255.85	221.93	250.62	207.11
Nov-24	270.72	306.21	304.98	285.59	226.11	277.04	214.43
Dec-24	299.61	341.00	343.34	326.97	236.73	317.00	226.28
% change between Nov-24 and Dec-24							
	10.7%	11.4%	12.6%	14.5%	4.7%	14.4%	5.5%
Volatility (%)							
Nov-24	9.5%	9.7%	9.9%	10.5%	10.1%	11.0%	12.0%
Dec-24	14.1%	13.0%	13.2%	13.8%	17.3%	14.0%	18.5%
Variation between Nov-24 and Dec-24							
	4.6	3.3	3.3	3.3	7.2	3.0	6.5

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Dec-23	-0.08	25.45	75.21	25.53	75.29	49.76	62.77
Jan-24	2.32	26.29	57.15	23.98	54.83	30.85	47.22
Feb-24	0.75	22.80	56.30	22.05	55.56	33.51	42.94
Mar-24	1.41	24.50	44.42	23.09	43.01	19.92	36.06
Apr-24	2.07	23.03	48.14	20.96	46.07	25.11	41.93
May-24	1.39	23.72	48.53	22.33	47.14	24.81	43.74
Jun-24	2.00	21.13	46.08	19.13	44.08	24.95	43.65
Jul-24	0.72	18.12	43.10	17.40	42.38	24.98	41.21
Aug-24	2.29	21.53	48.98	19.24	46.69	27.45	41.48
Sep-24	0.75	22.03	37.34	21.28	36.60	15.31	29.30
Oct-24	0.28	21.25	55.17	20.97	54.89	33.92	43.50
Nov-24	1.24	20.62	80.10	19.38	78.87	59.48	62.60
Dec-24	-2.34	14.03	104.27	16.37	106.61	90.24	90.72
% change between Nov-24 and Dec-24							
	-289.2%	-32.0%	30.2%	-15.6%	35.2%	51.7%	44.9%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 3: 世界のコーヒー需給バランス

Coffee Year	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24*	% change
PRODUCTION	169.8	168.4	170.8	168.0	168.2	178.0	5.8%
Arabica	99.5	96.4	100.6	92.3	94.0	102.2	8.8%
Robusta	70.3	72.0	70.3	75.7	74.2	75.8	2.1%
Africa	18.5	18.5	19.2	19.3	17.9	20.1	12.1%
Caribbean, Central America & Mexico	21.3	19.2	19.7	18.9	19.2	18.7	-2.5%
South America	81.9	81.1	83.9	77.6	81.3	89.3	9.8%
Asia & Oceania	48.1	49.6	48.0	52.2	49.8	49.9	0.3%
CONSUMPTION	171.2	168.6	169.9	176.6	173.1	177.0	2.2%
Exporting Countries	52.5	52.2	53.1	54.4	55.1	56.5	2.6%
Importing Countries (Coffee Year)	118.6	116.4	116.8	122.2	118.1	120.5	2.1%
Africa	11.9	12.1	13.0	12.9	12.2	12.5	2.6%
Asia & Oceania	39.9	40.1	42.2	44.2	44.5	45.7	2.7%
Caribbean, Central America & Mexico	5.8	5.8	5.9	6.0	6.0	6.1	2.3%
North America	31.8	30.6	30.2	31.3	29.8	30.9	3.8%
South America	26.3	26.0	26.4	27.0	27.5	28.0	1.6%
Europe	55.5	54.0	52.2	55.2	53.1	53.7	1.1%
BALANCE	-1.3	-0.2	0.9	-8.6	-4.9	1.0	

*preliminary estimates

表 4: 輸出国の総輸出量

	Nov-23	Nov-24	% change	Year to Date Coffee Year		
				2023/24	2024/25	% change
TOTAL	10,602	10,859	2.4%	20,274	21,846	7.8%
Arabicas	6,453	7,243	12.2%	13,090	14,672	12.1%
<i>Colombian Milds</i>	1,177	1,347	14.4%	2,167	2,555	17.9%
<i>Other Milds</i>	1,488	1,534	3.1%	3,120	3,225	3.3%
<i>Brazilian Naturals</i>	3,789	4,363	15.2%	7,802	8,893	14.0%
Robustas	4,149	3,616	-12.9%	7,184	7,174	-0.1%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表 5: ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の認証在庫

	Jan-24	Feb-24	Mar-24	Apr-24	May-24	Jun-24	Jul-24	Aug-24	Sep-24	Oct-24	Nov-24	Dec-24
New York	0.27	0.35	0.63	0.64	0.84	0.86	0.87	0.91	0.87	0.91	0.95	1.03
London	0.48	0.40	0.49	0.63	0.78	0.97	0.99	1.01	0.74	0.66	0.65	0.73

In million 60-kg bags